

平成19年度 第2回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成19年10月25日 木曜日 午後3時00分～午後5時00分			
開催場所	函館市南茅部支所3階 多目的ホール			
内 容	<p>報告事項 (1) 前回の意見等の集約結果と取り組み状況について</p> <p>議 題 (1) 平成20年度地域別事業計画(案)について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p>			
出席委員	秋本委員 田村委員 鎌田茂子委員	高田委員 鎌田光夫委員 金澤委員	濱田委員 佐々木委員 坂本委員	熊谷委員 木村委員 竹内委員 蛭谷委員 (計13名)
	・報道関係 函館新聞社			(計1社)
	・傍聴者			(計0名)
欠席委員	関根委員 本間委員			(計2名)
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長 南茅部支所地域振興課長 同住民サービス課長 同保健福祉課長 同産業課長 同建設課長 同地域振興課主査 同地域振興課主任主事 南茅部教育事務所長 市立函館南茅部病院事務長	梅田誠治 長谷川大春 西田俊一 小林元昭 鎌田輝蔵 河合満夫 西谷光一 加我明夫 坂口孝治 加我賢也	企画部地域振興室長 同地域振興課長 同地域振興課主査 同地域振興課主事1級 教育委員会生涯学習部 文化財課参事	佐藤洋一 佐藤直孝 進藤昭彦 小玉 亮 阿部千春 (計15名)

1 開会（午後3時00分）	
事務局 (長谷川課長)	ただ今より、平成19年度第2回函館市南茅部地域審議会を開会します。
2 会長あいさつ	
秋本会長	<p><挨拶要点> 皆様には、時節柄、何かとお忙しいところ、ご出席いただき、ご苦労様でございます。</p> <p>本日の審議会は、前回、8月開催の審議会での意見等の集約結果と取り組み状況の報告および平成20年度地域別事業計画案の説明を受けるほか、地域振興に関する意見交換も予定してございます。</p> <p>委員各位の忌憚のないご意見・ご提言を期待して、開会のご挨拶といたします。</p>
3 支所長あいさつ	
梅田支所長	<p><挨拶要点> 皆様には、何かとご多用のところ、ご出席いただき、感謝申し上げます。</p> <p>新聞等でご承知のこととは存じますが、地方交付税の大幅な減少により、特に北海道の各自治体は、大変厳しい財政状況となっております。</p> <p>函館市も同様の状況でありまして、現在、市長を筆頭に様々な対策を講じているところでございます。</p> <p>本日の審議会は、秋本会長のご挨拶にもありましたとおり、平成20年度地域別事業計画案について、ご審議をいただく大切な機会ですので、活発なご意見・ご提言を、私からもお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。</p>
4 出席員の報告	
事務局 (長谷川課長)	出席者15人、欠席者2人、地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により、会議の成立をご報告いたします。
5 報告事項	
(1) 前回の意見等の集約結果と取り組み状況について	
秋本会長	日程5の報告事項について、事務局から説明願います。
事務局 (長谷川課長)	(資料1のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
	(特になし)
秋本会長	質疑がないようですので、質疑を終了します。

6 議 題

(1) 平成 2 0 年度地域別事業計画 (案) について

秋本会長 日程 6 の議題に入ります。
(1) 平成 2 0 年度地域別事業計画 (案) について，事務局から説明願います。

事務局
(長谷川課長) (資料 2 のとおり説明)

秋本会長 説明が終わりましたので，質疑に入ります。
質疑ありませんか？

熊谷委員 縄文文化交流センターの整備について，来年度，基本・実施設計を行う
とのことだが，地域の意見も取り入れてほしい。
例えば，地元の小中学生のアイデアなどを取り入れることにより，地域に
親しみのある施設となる。

生涯学習部
(阿部参事) 本年 1 2 月に，プロポーザル方式により，設計業者が選定されますので，
来年 1 月から 3 月の間に，地域の方々も含めた意見交換を行い，新年度に
基本・実施設計を進めて参りたいと考えております。

秋本会長 地域の意見を活かせる場面があるということによろしいか？

生涯学習部
(阿部参事) 予算的な問題もありますので，どこまで実現できるか難しい部分もありま
すが，地域の人達に親しまれる施設となるよう努力していきたいと考えて
おります。

熊谷委員 地域においては，まだ縄文文化に対する関心が低いと思われ，1 人でも
多くの方が，計画に参画できる機会を設けてほしい。
特に，子供達は大人以上に発想が豊かなので，そうした想像力を活用し，
地域に愛されるものにしてほしい。

秋本会長 今後のスケジュールを，もう少し具体的に説明してほしい。

生涯学習部
(阿部参事) 1 2 月中旬に，設計業者が決定され，来年度から基本・実施設計が行われ
ますが，大事なのは，設計業者決定後の 1 月から 3 月の間で，どの位の意見
交換が出来るかという事だと思っておりますので，その中で，しっかりと進めて
いきたいと思っております。

秋本会長 他にありませんか？

熊谷委員 防災行政無線の統合整備について，旧町時代からデジタル化へ移行する
計画があったと認識しているが，どのような取り組みとなっているのか？

事務局 (長谷川課長)	<p>地域防災行政無線の整備については、全地域にわたる事業として、本庁の総務部、消防本部が所管しておりますが、現在、当支所も含めまして、4支所地域の防災行政無線の整備計画を検討している最中でございます。</p> <p>南茅部地域においては、まだ決定ではありませんが、施設の老朽化が著しくなってきたことから、施設の更新を基本に考えております。</p>
熊谷委員	デジタル化は、いつ頃を予定しているのか？
事務局 (長谷川課長)	<p>4支所地域を含め、全てデジタル化に移行した場合、莫大な事業費を要しますことから、機械自体はデジタル対応のものに更新し、当面はアナログによる運用を行っていきたいと考えております。</p>
熊谷委員	デジタル化に伴い、戸別受信機の更新も必要になってくると思うが、更新費用は、住民負担となるのか？
梅田支所長	<p>旧市内と4支所地域とでは、防災行政無線の利用形態が異なっていることから、旧市内にかかる事業は「地域防災無線の統合整備」、4支所地域にかかる事業は「防災行政無線の整備」に区分しています。</p> <p>基本的に、いずれの防災無線であっても統制卓は1つでなければなりません。各地域の運用方法が異なっており、合併後、統一することが難しい状況にあった中で、榎法華地域が平成15年から16年にかけて施設を更新したこともあり、全地域のデジタル化は、市の厳しい財政事情を見る限り、実施時期等も明確にお答えできない状況です。</p> <p>ただ、当支所の施設も老朽化が著しく、デジタルに対応した施設の更新を図ることが望ましいと考えておりますが、戸別受信機の更新費用については、行政負担とするのか、一部受益者負担とするのか、今後、検討して参りたいと考えております。</p>
秋本会長	他にありませんか？
木村委員	<p>テレビの地上デジタル放送が、函館でも10月1日から開始されたが、一部、受信できない市営住宅がある。</p> <p>現在のアナログ放送からデジタル放送に完全移行するまでに、受信可能となるよう対応をお願いしたい。</p>
建設課 (河合課長)	検討したいと思います。
梅田支所長	<p>基本的には、公営住宅の共視聴設備で受信しているものについては、行政の責任で対応しており、市全体における公営住宅の整備計画の中に、含まれているものと思います。</p>
秋本会長	他にありませんか？
金澤委員	大船会館の改修は、どのような内容となるのか？

住民サービス課 (西田課長)	外壁，屋根，避難階段等の補修を，2か年で行う予定です。
梅田支所長	15箇所の地域会館中，老朽化が著しいのが大船会館で，特に避難階段は，損壊の恐れがあることから，緊急度を考慮し，来年度に改修したいと考えております。
秋本会長	他にありませんか？
濱田委員	稚魚放流事業について，近年，マツカワの放流により，当地域沿岸でも水揚げされるようになったが，漁協の指導では，35センチメートル未満の稚魚は，放流することになっているにもかかわらず，徹底されていないように見受けられる。 漁協と行政が連携して，漁業者への指導・啓発を図ってほしい。
産業課 (鎌田課長)	漁業者への指導・啓発につきましては，これまでも要所要所に啓発ポスターを掲示するなどの取り組みを行っております。 資源増大を図るためにも，漁協では，これまでも色々と対策を講じておりますので，効果的な啓発について，漁協と連携して参りたいと考えております。
秋本会長	他にありませんか？ (特になし)
秋本会長	他に無いようですので，質疑を終了します。
7 地域振興全般に関する意見交換について	
秋本会長	日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。 どなたか，ご意見ありませんか？
高田副会長	函館市主要施策3か年計画の達成率と新総合計画の策定状況について，教えてほしい。
梅田支所長	新総合計画は，今年度，計画が策定されまして，現在，平成19年度から22年度までの実施計画を策定中です。
企画部 (佐藤室長)	函館市主要3か年計画は，平成17年度から19年度までとなっており，計画期間終了後に事業実績等を集約することから，達成率もまだ示されていない状況ではありますが，主なものは概ね計画どおり実施されているものと認識しております。
高田副会長	平成20年度以降の計画については，いつ頃公表されるのか？

企画部 (佐藤室長)	議会への報告も必要なことから、来年3月頃になるのではないかと 思われます。
高田副会長	コミュニティセンターの整備計画については、いつ頃を予定しているのか？
企画部 (佐藤室長)	<p>コミュニティセンターの整備については、9月議会でも質問が出ており、市長から、「緊急度を勘案し、既存施設を活かしながら、整備していく」との答弁がなされております。</p> <p>南茅部地域については、現南茅部公民館が老朽化しており、4支所地域全体の計画の中で検討しておりますが、実施時期につきましては、今後、示される中期財政試算の財政状況も考慮する必要がありますことから、まだ具体的にお示しできない状況ですのでご理解願います。</p>
梅田支所長	<p>函館市主要施策3か年計画は、合併後、平成19年度からはじまる新しい総合計画のつなぎとして策定されたものであり、実施状況を公表することを前提としたまとめはなされていないはずですが。</p> <p>ただ、総合計画の実施状況については、新総合計画の策定状況の中で示されているものと思います。</p> <p>コミュニティセンターの整備については、戸井、恵山、南茅部の3地域で予定しており、現在、市民部を中心に考え方を整理しておりますが、最も老朽化が著しい恵山地域、次に南茅部、あるいは戸井地域という方向で、素案を練っている段階です。</p> <p>一定の方向性が整理された段階で、改めて、皆さんにお諮りさせていただきたいと考えております。</p>
秋本会長	他にありませんか？
竹内委員	<p>移動図書館車の運行日を周知してほしい。</p> <p>また、利用箇所をもっと増やせないか？</p>
教育事務所 (坂口所長)	<p>現在、南茅部地域においては、月に1回、尾札部会館前と臼尻会館前の2箇所で行っておりますが、ご要望の件も含めまして、より効果的な運行が図られるよう、図書館と協議していきたいと思っております。</p>
秋本会長	他にありませんか？
熊谷委員	<p>先程、コミュニティセンターの整備計画について、支所長から説明があったが、整備に伴い現在15箇所ある地域会館の取扱いは、どのようになるのか？</p> <p>合併当初、地域会館は全て残すこととし、指定管理者制度の導入により、現在、町内会が指定管理者となって管理運営しているが、市の厳しい財政状況を見る限り、将来的には小規模な会館は、廃止されていくことになりかねない。</p> <p>地域住民にとっては、コミュニティセンターよりも地域会館の方が、より身近に必要な施設であり、市として、今後における地域会館のあり方をどのように考えているのかお聞かせ願いたい。</p>

梅田支所長	<p>コミュニティセンターの整備については、さきの移動市長室でも、市長から、恵山地域をさきに整備したいとの説明がされております。</p> <p>南茅部地域についても、9月議会で質問があり、その中の答弁で、「当初、南茅部地域産業活性化プランでも示されているとおり、現在の公民館を建て替え、新たに地場産業振興センターも含めたコミュニティ機能を有する複合施設を整備する計画もありましたが、厳しい財政状況もあり、現公民館の改修も含めた検討をしながら、地域の皆さんの考え方をお聞きして、整理していきたい」との答弁がなされております。</p> <p>地域会館については、1町会1会館が、函館市の基本的な考え方であり、4支所地域においても同様に扱うべきだという意見もありますが、やはり地域事情も考えると、全て市のルールに統一するという事は、難しいものと認識しております。</p> <p>しかし、将来にわたって、現状のまま市が全て財政負担していくというのも難しい状況で、1町会1会館を基本にしながら、主要会館以外の小規模会館のあり方についても、今後、皆さんと意見交換しながら、時間をかけて整理していきたいと考えております。</p>
熊谷委員	<p>コミュニティセンターが整備されるから、小規模な会館を集約して、1町会1会館にという論は、地域住民の理解を得られにくいと思われるので、意見交換をしながら、慎重に検討していただきたい。</p>
高田副会長	<p>地域のブロードバンド化について、現在、市外局番が63局の地域はISDN回線、25局の地域はADSL回線となっているが、旧市内ではすでに光回線が整備されている。</p> <p>民間事業者主導とはいえ、採算ラインに見合わなければ、地域への事業投資は進まず、都市部との情報格差が懸念されるが、行政として民間事業者に対する働きかけはあるのか？</p>
梅田支所長	<p>事業者であるNTTは、700件の加入見込みがあれば、当地域に光回線を整備するとしておりますが、加入者を募集した結果、約250件しか申し込みがなかったと聞いております。</p> <p>全世帯の約1割程度ということで、NTTとしても採算の都合上、整備は難しいとの見解を示しているようです。</p> <p>行政としては、情報の格差とはいえ、こうした状況を見る限り、地域におけるインターネット需要が低いものと認識しております。</p>
蛭谷委員	<p>地域のブロードバンド化については、私も所属している商工会青年部が中心となって、誘致活動を行っているが、NTTとの協議で、63局と25局の地域で、それぞれ350件、合わせて700件の加入が必要で、現在の加入申込み件数では、整備は無理とのことだった。</p> <p>今後、商工会青年部や支所の職員と連携して、対応を検討中である。</p>
高田副会長	<p>行政として、IT講習の実施など地域のインターネット利用の普及啓発を図ることにより、需要も増えるのではないかと？</p>

<p>教育事務所 (坂口所長)</p>	<p>南茅部高校の主催で、毎年、インターネット講習を行っておりますが、受講希望者が少ない傾向にありますことから、今後、周知方法を工夫するなどして、受講者の拡大が図られるよう高校と協議して参りたいと考えております。</p>
<p>蛸谷委員</p>	<p>学校には、授業に必要なパソコンが整備されているものの、通信回線が遅いため、授業に支障が生じていると聞いている。 また、回線数が足りないため、インターネット使用時は、電話が繋がらない事が多々ある。 改善する考えはないのか？</p>
<p>梅田支所長</p>	<p>状況を確認のうえ、次回までに回答したい。</p>
<p>秋本会長</p>	<p>他にありませんか？ (特になし)</p>
<p>秋本会長</p>	<p>他にないようですので、意見交換を終了します。 午後4時30分まで、休憩します。 (午後4時24分、休憩) (鎌田光夫委員退席)</p>
<p>8 その他</p>	
<p>秋本会長</p>	<p>日程8のその他について、事務局から何かありますか？</p>
<p>梅田支所長</p>	<p>私から2点、お話をさせていただきます。 1点目は、水産業改革高木委員会についてです。 この委員会は、日本経済調査協議会の高木農林漁業金融公庫総裁を委員長として設立されたもので、今年7月末に水産業の構造改革に向けた提言を打ち出しました。 その内容は、水産資源を「国民共有の財産」と位置付けたうえで、「水産加工業、外食産業などが漁協組合員になれるようにする」、「養殖・定置網漁業への参入を自由化する」などとなっております。漁連をはじめとする水産関係団体から反発を受けております。 10月11日、市立函館中央図書館で、北日本漁業経済学会主催によるパネルディスカッションが開催され、私も出席しましたが、当地域からの水産関係者は少なく、漁業者としてもっと危機感が必要ではないかと感じました。 2点目は、市の厳しい財政状況を踏まえ、これまでも職員数の見直しを行ってきたところであり、先般、来年度に向けての新たな提案もいたしました。 その中で、南茅部支所においては49人中12人、教育事務所についても</p>

	<p>7人中1人の削減提案となっております。</p> <p>提案では、地域福祉バスの運転業務の委託化も予定しておりますが、運行基準については、平成21年度に統一する方向で検討していますので、来年度は従来どおりとなりますので、ご了承ください。</p>
秋本会長	何か質疑ありませんか？
濱田委員	<p>自分も漁業者だが、これまで海は自分の物だという意識が強かった。</p> <p>今回の提言に対して、漁業者が自分達の問題として受け止め、どのように対応していくのか真剣に考えていかなければならない。</p>
秋本会長	<p>私もパネルディスカッションに出席したが、提言の趣旨は、これまで漁業者だけに限られてきた水産資源について、民間の参入も可能にしようというもので、過去に大前健一氏が「漁港不要論」を発表して以来の大きな問題として取り上げられている。</p> <p>当地域にとっても、大きく関わりのある内容であるため、今回、支所長から、このように説明した次第である。</p> <p>他に質疑ありませんか？</p>
熊谷委員	<p>今後、支所が30人規模の職員体制となった場合、果たして、これまでどおり住民サービスが守られるのか？</p> <p>これまで、地域に密着した行政運営のため、職員も一生懸命努力しているが、これからさらに少なくなっていく場合、残った職員への負担も危惧される。</p> <p>職員の削減を反対するものではないが、大幅な削減については、慎重に検討してほしい。</p>
梅田支所長	<p>4支所のあり方を検討するうえで、住民サービスの低下を招かないことと地域振興を図ることを基本に、本庁への業務集約等により人員削減する計画としました。</p> <p>例えば、課税業務は本庁集約が可能で、その分の人員を削減しても支障がないということで、今回、削減提案しております。</p> <p>また、地域振興課も地域福祉バスの運転業務委託化による2名のほか、5名の削減となっておりますが、これも予算・決算に関わる事務が本庁に一元化していることから、そうした業務集約による削減となっております。</p> <p>災害対応等についても、南茅部支所の職員だけでは対応できない状況となった場合は、他の支所あるいは本庁からの応援を要請して対応したいと考えております。</p> <p>組織体制も、係長制から主査制を導入し、柔軟に業務執行が図られるよう対策を講じているところであります。</p> <p>当然、支所に必要な業務もある訳ですから、その業務量に見合った人員削減を行っている状況です。</p>
熊谷委員	<p>地域でできることは、支所が担うべきであり、そのためには削減ではなく、増員してでも、地域住民に喜ばれるような支所体制となるようお願いしたい。</p>

秋本会長	他にありませんか？ (特になし)
秋本会長	それでは、これで意見交換を終了します。 次回の地域審議会は、3月を予定しています。 本日は、これをもちまして閉会いたします。 どうも有り難うございました。 (午後5時00分、閉会)